



国際会長 (IP) Henry Grindheim (ノルウェー)

“Let Us Walk in the Light—Together” 「ともに、光の中を歩もう」

“Fellowship across the Border” 「国境なき友情」

会長 舟田 正夫
副会長 古賀 健一郎
書記 伊藤 誠彦
会計 古田 和彦
直前会長 金子 功

アジア地域会長 (AP) Tung Ming Hsiao (台湾)

“Respect Y's Movement”

「ワイズ運動を尊重しよう」

東日本区理事 (RD) 栗本 治郎 (熱海)

「広げよう ワイズの仲間」

“Extension Membership & Conservation”

湘南・沖縄部部長 (DG) 金子 功 (横浜)

「Y'sの絆を強め、広げよう」

“Let's Tighten and Expand the Bonds of Y's Men”

横浜クラブ会長 (CP) 舟田 正夫

「YMCA とともに！」

“Together, with YMCA!”

監事 松島 美一
ブリテン 古賀 健一郎
野村 郁雄
担当主事 青木 一弘

<今月の聖句>

古賀健一郎

あなたがたはどう思うか。ある人が羊を百匹持っていて、その一匹が迷い出たとすれば、九十九匹を山に残しておいて、迷い出た一匹を捜しに行かないだろうか。はっきり言うておくが、もし、それを見つけたら、迷わずにいた九十九匹より、その一匹のことを喜ぶだろう。そのように、これらの小さな者が一人でも滅びることは、あなたがたの天の父の御心ではない。

(マタイによる福音書 18 章 12-14 節)

今月のひとこと

「中学校の日本歴史学習支援」

舟田 正夫



毎週火曜日の午後5時から1時間半、海外から帰国した日本の中学生への学習支援を行っていることは以前ブリテンで書いたことがある。

いま新学期が始まり新しい生徒への学習支援を頼まれた。この生徒はバングラデッシュから来た2年生の男子生徒で、日本歴史学習を支援することになった。英語が出来ると言うので引き受けた。確かに英語での意思疎通は問題ない。

ところが、漢字は読めないし、漢字の意味は分からない。

教科書を持っていても、持っているだけである。ノートを見せてもらおうと、立派に漢字を書いている。多分学校で先生が白板に書いたものを写してきているのだろう。教科書の漢字は読めないし、意味は分からないし、それに対応するノートに書かれた漢字を読めないし、その意味も分からない。

この生徒にどう日本歴史を教えたらよいのか。まず漢字の単語帳を私が自宅で作成し、これを生徒に渡して学習支援中にこれを活用した。漢字にはルビを振り読みやすいようにした。幸い生徒は平仮名を自由に読めるし、書くことも出来る。漢字の意味は英語で書いた。

これだけ準備すれば教科書はすぐ読めると考えたが、そう簡単ではなかった。生徒は家で予習・復習をして来ていないことが何となく分った。単語帳は宝の持ち腐れになっている。

教科書と単語帳を一体化するのを感じた。そこで教科書を拡大コピーして漢字に私がルビを振り、そのあと音読による学習をするようにした。慣れない文章を読むことは大変疲れるようだが、漢字を音読すると漢字に慣れることが出来る。

そのあと英語で漢字の意味を説明することにした。この説明を生徒が拡大コピーに書き込む。教科書の頁毎にこのような作業を続けて行く。

戦国の武將は常に戦いをしていた。その戦いの場所は地図に示されているが、これが地図の中に小さく載っている。日本歴史を教えることは同時に日本地図を学習することになるうとは考えなかった。毎回日本地図にとらめっこしている。

今の教科書は我々が中学生であった頃の教材と比べると比較にならないくらい、細かく書かれている。若い生徒は若さと努力でこれを乗り越え理解するのだろう。私が支援している男子生徒も努力して日本の歴史を知ってもらいたいと期待している

<2018年5月例会実績>

在籍者	出席者	出席率	B F	
16名	メン 8名 メネット 0名 コメット 0名 ビジター 2名 ゲスト 0名 合計 10名	63% (メーキャップ 2名を含む) 前月修正出 席率 %	今月分 切手 0g 現金 0円 年度累計 切手 0g 現金 0円	

<6月の行事予定>

強調月間『評価』

日	曜	時間	行事内容	場所
2-3	土		東日本区大会	沼津
5	火	19:00	第81回Y-Y協議会	中央YMCA
14	木	18:30	横浜クラブ第一例会	中央YMCA
16	土	15:00	第4回部評議会	中央YMCA
28	木	18:30	横浜クラブ第二例会	中央YMCA

「5月一泊研修会及び第一例会報告」

大高 治

日 時:5月18日(金)15:00~19日(土)11:00

場 所:横浜市民ふれあいの里 上郷・森の家

出席者:青木、伊藤、今村、大高、金子、古賀、舟田、古田

ビジター:加藤利榮ワイズ(横浜とつかクラブ)、

辻 剛ワイズ(横浜つづきクラブ)

横浜クラブ恒例の一泊研修会は、今年も森の家で開催されました。古田次期会長の「横浜クラブの今後の在り方を考える」を命題として、伊藤ワイズの司会の下、舟田会長の挨拶、ワイズソング、ワイズ信条の唱和、松島ワイズに代った古田ワイズによる聖句で開始された。

参加者が準備して来たペーパーにより多くの提案や要望が発表され、ビジターからは有意義なアドバイスを含めた講評がなされた。

第一日目の研修会 I



研修会の様子

テーマは「財政面からクラブの課題とその対策を考える」で、古田次期会長より次の発題提起がなされた。

「来期は会員が減少する。各方面にお金を出し、目標を達成して来ているが、他のクラブではメリハリをつけている。活動はお金の問題だけではないが、お金の使い方を含め、会の運営上に問題はなかったであろうか。」

会員からの提案、要望は次の通り。

- ・外部へのボランティア活動は会員増強になろう。

- ・会費5千円は高い。限られた人が入会出来るレベル。会費はどのような人を勧誘するかにもよる。
- ・YMCAへの資金の提供は有難いが、スタッフとの交流が少ない。卓話はYMCAのスタッフに頼むことも出来る。日本語教育の意味も卓話のテーマになろう。
- ・当クラブに興味をもつ人の発掘のため、日本語学科ビジターセッションへの部外者の参加も検討されたい。
- ・日本語スピーチコンテストは行政や各種団体からの資金提供を受けられる可能性もある。
- ・献金の対象や金額は環境や時代の変化もあるので、会員間で勉強し、見直す必要がある。近隣団体への支援では継続強化して欲しいところもある。
- ・クラブ交際費、活動資金補助等のクラブ運営費やロバ献金の使い方の見直しも必要。
- ・地域社会と直接触れ合う暖かさを提供して行けば、満足感が得られる。
- ・月例会時の食事は種々検討して良い。質、出さない、居酒屋にする。また時にホテルでの例会開催もよい。月例会時皆と取る食事は特別な意味合いがある。
- ・クラブからのチャリティーランへの拠出よりも、外部の団体や会社からの献金をお願いする活動に変更してはどうか。臨港パークに近いみなどみらい地区ではオフィスやホテルの建設ラッシュ中。
- ・会費を値下げしても会員が直ぐ増えるとは限らない。値下げするとしても段階的に。
- ・単年度の赤字を避けるには15~16名の会員が必要。特別会計に資金があるので、中期的な対策で良い。その為には横浜クラブの目指すべき方向を明確にして、明確な基準の下に優先順位を付けて課題解決に取り組む必要がある。

講評/コメント

横浜クラブの課題は外部環境の変化によることも含めて、他のクラブと共通するところも多い。改善改革は徹頭徹尾比較検討し、出来るだけ全会員の賛同を得て進める一方、クラブは現在単なる「仲良しクラブ」で、「人格なき任意団体、法的能力のない社団」を脱するよう、ワイズ仲間の行政書士や司法書士の力を借りてクラブのNP O化に取り組んで頂きたい。

第二日目の研修会 II

テーマは「横浜クラブのあらまほしき姿とは」で、研修会 I と同様、古田次期会長より次の発題提起がなされた。

「YMCAを通しての社会貢献を主としながら、会員の親睦も大切。会員増強を図る中で、ブリテンなどで負担に感ずる点がないかどうか。日本語学校など地域社会との関係も検討して頂きたい。」

会員からの提案、要望は次の通り。

- ・クラブの名前が示すようにYMCAと共にありたい。
- ・クラブの活動は「青少年のためにYMCAにつくそう」という、ワイズの信条につける。
- ・我々の活動の先、受益者側に立ってのレビューが必要。YMCA日本語学校では教えない「小論文の書き方」等実際に役立つような支援出来ると良い。(KSGGは実務上の日本語指導をしている。)
- ・YMCAとの係わりは長く得るところが多かった。プライオリティーの高いところにおいてワイズの活動にも

- 係わっているが、活動の内容については地域性や個人差、プライオリティの個人差もそのまま尊重して良い。
- ・富士山キャンプは価値あるところ。横浜クラブからも参加されたい。
 - ・YMCAを通しての社会貢献の要素が高い日本語学校に意義を感じている。日本語スピーチコンテストでは賛同者、支援者が増えて来た。
 - ・ウェルカムフェスタはYMCA支援活動の柱になって来た。小柱は増やさなくとも良いとも思う。
 - ・YMCAの運営委員会とのディスカッションの機会があるが、日本語学科のみではなく、他の責任者とも交流して欲しい。活動内容は卓話の対象になろう。
 - ・YMCA内部へのPR, 中央YMCAでの掲示、YMCA News へのワイズ行事の掲載を検討して欲しい。
 - ・「楽しくなければワイズではない・・・」というようなスローガンを掲げ、会員増強は自分の交友関係から始めることになろう。
 - ・当クラブには幾つかの強み(機会)がある。その強みを活かすスローガンを掲げたチラシが欲しい。また当クラブの活動に関心を持つ層を増やせるような取組み「日本語学科の学生に対するHost Family制」を提案したい。また、オリンピックに向けては、日本語学科の学生が母国の選手を支援出来るような役割を見つけて上げたい。

講評/コメント

- ・自分のクラブの今後を考える上でも参考になった。会員が減っていること、部や区の会合が多いことなど共通することが多々ある。
- ・仲良しクラブは良い面もあるが、アメリカの衰退のことを思い起こしてみなければならぬ。他のクラブのブリティッシュのみでなく、他のクラブ、部や区の活動に関心がなくなるのは危険信号だ。
- ・他のクラブや中央以外のYMCAの訪問などを積極的に行い、その結果をブリティッシュに載せるなどして、会員のコンサーベーションにつなげたい。



- ・会員増強では年齢層別のクラブも検討して良いと思う。
- ・ブリティッシュのマンネリ化防止も必要。ドットコムを開いても

らえるような連載記事を掲載するよう工夫も必要。

- ・ワイズ100年の歩みをFish Bone Chartに表し、アメリカのようにならないよう試みて頂きたい。

「横浜YMCA会員総会報告」

古田 和彦

5月26日(土)17時から、湘南戸塚YMCA一階ホールにおいて、2018年度の横浜YMCA会員総会が行われた。総合司会は総会準備委員の鈴木茂さん(つづきワイズ)。開会礼拝では、讃美歌412番1・2節を讃美し、聖書は2018年度横浜YMCA基本聖句であるマタイによる福音書22章39節「隣

人を自分のように愛しなさい。」が読まれた。司会者の祈りののち、「愛すること、仕えること」(日本YMCA基本原則のうた)の讃美、横浜YMCA「私たちの使命」の交読を行った。続いて会員総会となり、議長は横浜YMCA常議員会議長の松橋秀之さん。書記には今城宏子さん(つづきワイズ)、職員の長田光玄さんが選ばれた。登録総会構成員数511名、出席総会構成員125名、委任状207名で総会は成立した。また、総会構成員以外に99名の出席者があった。

議長の指名により、田口努総主事が、第1号議案「2017年度事業及び会計報告の承認」、第2号議案「2018年度全体事業方針・計画案及び予算案の承認」を提案・説明し、質疑ののち異議なく承認された。続いて、プロテクト・ア・チャイルドの募金アピールがあり、募金額は4人の年間支援分に当たる146,146円であった。小休憩の後、特別プログラムとして、全国のYMCAで展開している「YMCAブランディングプロジェクト」の取り組み、紹介があった。再び議事に戻り、第3号議案「常議員の選出」が上程され、新任6名、改



選(2期目)・留任4名の選任が行われた。当クラブの金子ワイズが1年の休み

を終えて再度選任された。第4議案は今年特別のプログラム。永い間理事長を務められた山田尚典さんが退任されたため、新しく工藤誠一さんが就任する「理事長交代の件」が上程された。新理事長の誓約、総会出席者の誓約を行い、厳かに理事長就任式を行った。第5号議案「会員表彰」、77名のリーダーが奉仕賞を受けた。また、「奉仕の書」には理事長を退任された山田尚典さん、山田理事長と共に永く横浜YMCAに仕えられた茂木雄さんのお二人が記された。時代の変わり目の総会との印象を受けた。閉会式、写真撮影を終え、20時30分終了した。

横浜クラブからの参加者は、伊藤メン・メネ、今村、大江、金子、古賀、齋藤、田口、古田の各ワイズ。

「横浜YMCAの常議員に選ばれて」

金子 功

去る5月26日(土)の横浜YMCA会員総会におきまして、私は他の5人の候補者と共に次期3年間常議員に就任することが許されました。大変名誉なことであり、光栄に思うと同時に、候補者として推薦し、ご承認くださった皆様から感謝いたします。

常議員の資格および選出手続きについては総会でも説明がなされた通り、総会準備委員会で示された常議員に求められる要件に従って現常議員が推薦した候補者が総会で承認を受けることになっています。

去る4月13日、私は、田口総主事より複数の現常議員から次期常議員候補者として推薦されているので受けていただけないかとの相談を受けました。私は嘗て総会準備委員をした

経験もあるので横浜YMCAが求める常議員の資格要件を良く承知しています。その資格要件を考えれば私の年齢の点、それに加えて昨年暮れから貧血気味の症状で体調が優れない点もあったので即答はできませんでした。数日考えさせてくださいと返事をせざるを得ませんでした。

かなり真剣に考えました。答えは知力、体力が続く限りもうしばらくYMCAと関わってみたいという気持ちが勝ちました。体調も回復傾向にあることから、数日後に田口総事に推薦をお受けする旨伝えました。返事をすると同時に新しいエネルギーが湧いてきたように感じます。もうしばらくYMCAに関わらせていただき、新しいYMCAのブランドコンセプトを享受させていただきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

第二例会報告

伊藤 誠彦

日時：5月18日(金)14:00～15:00

場所：横浜市民ふれあいの里 上郷・森の家 1階ロビー

出席者：青木、伊藤、大高、金子、舟田、古田

ビジター：加藤利榮ワイズ (横浜とつかクラブ)

5月18日、19日の一泊研修会の開始前に変則日程で実施。協議・確認・報告事項は次の通り。

- ① 行事予定の確認。6月臨時第二例会を14日17:00から第一例会前に開催。
- ② 第21回東日本区大会参加予定者の確認。青木、金子、齋藤、田口、舟田、古田、松島の7名。
- ③ 7月総会資料原稿作成担当者の決定。資料1～3(伊藤)、資料4(舟田・古賀)、資料5～7(古田)、資料8(金子)、資料9(伊藤)。以上、原稿を6月臨時第二例会に提出のこと。
- ④ 今年度退会予定者4名の異動日は6月30日とする。
- ⑤ 6月6、7日カナダBF代表受入協力要請&確認。
- ⑥ その他、ブリテン編集計画、6月卓話者等々



担当主事 青木 一弘

○第25回AIDS文化フォーラム in 横浜

AIDS文化フォーラム in 横浜は、HIV・エイズに関わるNGO、NPOと市民ボランティアによるフォーラムです。毎年8月に3日間開催されます。このフォーラムは、今年も、教育、医療、看護、女性、薬害、人権、社会問題、セクシュアリティ、国際等多くの社会的課題を考える場となります。

日時 8月3日(金)～8月5日(日)

10時～17時30分(最終日16時)

場所 かながわ県民センター

その他 参加自由・入場無料

○水上安全キャンペーン

YMCAのスイミングクラスでは、すべてに優先するかけがえのない生命を大切にしています。毎年6月～9月にかけて、神奈川県、神奈川県教育委員会、各市町の教育委員会等の後援を受け、生命を守り育てることを目的にウォーターセー

フティキャンペーン(水上安全キャンペーン)を実施しています。なお、期間中には、水上安全ハンドブックを子供たちに配布(無料)し、心肺蘇生法講習・着衣泳講習などを行います。詳細は、近隣のYMCAにお問い合わせください。

○夏季キャンプボランティアリーダー募集

子どもが好きな方、体を動かすことが好きな方を募集しております。座学での対象理解や、実技のトレーニングにも参加し、自身のスキルアップができる機会も多くあります。是非、ご応募ください。

(ボランティア内容)

子ども達のリーダーとしてキャンプ生活のサポートを行います。

(年齢) 18歳以上(高校生不可)

(応募資格) 資格の有無は問いません。

子どもが好きな方、教員を目指している方など。

(必要経費) 無料研修制度

(その他) 初めての方も安心して参加ができるように、事前トレーニングを実施していますのでご安心ください。

YMCAがこれまで大切にしてきたキャンプには、いつの時代においても可能性と喜びがあり、その経験を通じて多くの方が育ち、変えられてきました。2020年、YMCAはキャンプ100年を迎えます。

6月例会プログラム

日時：6月14日(木)18:30～20:30

場所：横浜中央YMCA 501号室

司会：舟田ワイズ

1. 開会点鐘および挨拶 舟田会長
2. ワイズソング・ワイズの信条 . . . 全員
3. 今月の聖句 古賀ワイズ
4. ゲスト・ビジター紹介 舟田会長
5. 食前感謝 古賀ワイズ
6. 食事
7. 卓話 「カリブ楽園 セントルシア」

野口 丞治氏 (シニアボランティア経験を活かす会
元監事)

8. ビジネス・報告 舟田会長、他
9. **Happy Birthday** 松島美一 (18)
10. 閉会点鐘 舟田会長

例会報告：古賀ワイズ

7月の行事

日	曜	時間	行事内容	場所
12	木	18:30	横浜クラブ第一例会 総会	中央YMCA
26	木	18:30	横浜クラブ第二例会	中央YMCA

当ブリテン及び横浜ワイズメンズクラブに関するお問い合わせは、YMCA青木一弘にご連絡下さい。
メール aoki_kazuhiro@yokohamaymca.org
電話 045-641-5785